

事務事業名		スポーツ推進委員会運営事業		事務事業の性格	単年度事業	開始年度 事業期間	昭和 38 年度から 年度まで	
所属部門	社会教育課 スポーツ振興係			課長名	松浦 智幸	担当者名 内線番号	大橋 毅 内線 ( 516 )	
総合計画体系	基本目標	個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	
	政策名	交流を通じた魅力ある地域文化の形成			一般	9	6	1
	施策名	スポーツしやすい環境づくり			予算上の事業名 スポーツ推進委員会運営事業			

法令根拠 | スポーツ基本法

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 住民のスポーツ振興に関し、町が行う社会体育・スポーツ振興事業の企画や推進を図るほか、スポーツ組織の育成や教育関係機関、その他行政機関、スポーツ団体の事業に対して必要に応じて実技指導及び助言等の協力を行う。	→
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) スポーツ推進委員	
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 町民のスポーツ、レクリエーションの普及振興を図るため、に求められている資質の向上のため、研究、協議、連絡調整を図るとともに実践していく。	
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 町民にとって、健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続していくことができる環境を整える。	

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名称	単位
① 各種会議等の実施回数	回
② 延べ参加人数	人
③	

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
① スポーツ推進委員数	人
②	
③	

7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名称	単位
① 延べ参加率(実施回数/委員数)	%
②	
③	

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① スポーツしやすい環境の整った町であると思う町民の割合	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更  有 (年度から)  無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	153,167	151,320	267,000	267,000			
	事業費計(A)	円	153,167	151,320	267,000	267,000			
	正職員従事人数	人	2	2	2				
人工数(業務量)	年間	0.0933	0.0871						
人件費計(B)	円	757,891	717,667						
トータルコスト(A)+(B)	円	911,058	868,987	267,000	267,000				
活動指標	①	回	3	3	3	3			
	②	人	18	19	30	30			
	③								
対象指標	①	人	10	10	10	10			
	②								
	③								
成果指標	①	%	60.0	63.3	100	100			
	②								
	③								
上位成果指標	①	%	68.4	61.0	70.0	70.0			
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 国民のスポーツに関する自発的な活動に協力しつつ、ひろく国民があらゆる機会とあらゆる場所において自主的にその適性及び健康状態に応じてスポーツをすることができるような諸条件の整備に努めるため、昭和36年に制定されたスポーツ振興法に体育指導員の活動が規定されているため。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) スポーツは広く国民に浸透し、スポーツを行う目的が多様化するとともに、競技技術の向上やスポーツによる国際交流や貢献の活発化などスポーツを巡る環境の変化に対応し、平成23年にスポーツ基本法が制定された。 法律により、国は自治体の責務やスポーツ団体の努力等を明らかにするとともにスポーツに関する施策に関する基本となる事項が定められた。 体育指導委員についてもこの法律の中で、スポーツ推進委員に代わり、町のスポーツ推進に係る体制整備を図ることとなった。
---	--

事務事業名	スポーツ推進委員会運営事業	所属部門	社会教育課	スポーツ振興係
-------	---------------	------	-------	---------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望  この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性  なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	2.対象と意図の拡大・縮小余地  対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
有効性 評価	3.成果の向上余地  事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地  事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
効率性 評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地  成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
公平性 評価	6.受益と負担の適正化余地  提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

29年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入) ・スポーツ推進委員会議や各種研修をとおして、町のスポーツ施策の在り方に関する議論を行う。 ・チャレンジデー実行委員の構成メンバーとして町民に対するスポーツの普及に係わる活動や推進委員が主体となるスポーツ講座実施に向けた協議を行う。 ・次期の町の生涯学習中期計画策定に向け、今後の町のスポーツ振興の在り方について研究を継続する。	改革・改善実施の方向性 業務改善																					
	30年度以降の取組	平成29年の取り組みを継続して行う。	2.改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下		
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

※町民等の意見・要望に対する検討結果

事務事業名		スポーツ賞等受賞式典開催事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 47 年度から 年度まで		
所属 部門	社会教育課 スポーツ振興係			課長名	松浦 智幸	担当者名 内線番号	大橋 毅 内線 ( 516 )		
総合 計画 体系	基本目標	个性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり		予算 科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名
	政策名	交流を通じた魅力ある地域文化の形成			一般	9	6	1	スポーツ賞等授賞式典開催事業
	施策名	スポーツしやすい環境づくり							

法令根拠 芽室町スポーツ賞等規則

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要)  
 体育レクリエーションの健全な普及発展に貢献のあったもの、大会において優秀な成績をおさめたものに賞を贈り、これを顕彰及び奨励する。

2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など)  
 10年以上にわたりスポーツ振興に貢献した個人及び団体  
 上位スポーツ大会の優勝又は入賞した個人及び団体

3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)  
 日頃の練習成果を発揮したことに対する功績と、長年のスポーツ振興への貢献を称え、更なるスポーツ振興へ一助とする。

4.結果(どんな結果に結び付けるのか)  
 スポーツ活動が活発になり、上位成績者が増え、選手及び後援者が全体としてスポーツに対する姿勢がより積極的になる。

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名称	単位
① 受賞回数	回
②	
③	

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
① 個人	人
② 団体	団体
③ 受賞者数(個人+団体受賞者数)	人

7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名称	単位
① 全町民	人
② 受賞者数(個人+団体受賞者数) / 全町民	%
③	

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① スポーツしやすい環境の整っているまちと思う町民の割合	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更  有 (年度から)  無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投入 量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	200,923	175,889	365,000	365,000			
	事業費計(A)	円	200,923	175,889	365,000	365,000			
	正職員従事人数	人	2	2	2				
	人工数(業務量)	年間	0.0550	0.1095					
人件費	円	446,774	902,233						
トータルコスト(A)+(B)	円	647,697	1,078,122	365,000	365,000				
活動指標	①	回	1	1	1	1			
	②								
	③								
対象指標	① 個人		49	63	66	66			
	② 団体		17	15	20	20			
	③ 人		149	138	200	200			
成果指標	① 人		18,950	18,809	18,809	18,809			
	② %		0.08	0.07	1.06	1.06			
	③								
上位成果指標	① %		68.4	61.0	70.0	70.0			
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景  
 町のスポーツの振興を図るため、各スポーツ賞を贈り、顕彰及び奨励する事を目的として実施している。

2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか)  
 表彰基準の見直しに関する意見があることから、スポーツ推進委員、社会教育委員の各議会において議論を行い、教育委員会に諮り決定する。

事務事業名	スポーツ賞等受賞式典開催事業	所属部門	社会教育課	スポーツ振興係
-------	----------------	------	-------	---------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望  この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性  なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	2.対象と意図の拡大・縮小余地  対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
有効性 評価	3.成果の向上余地  事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地  事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
効率性 評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地  成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
公平性 評価	6.受益と負担の適正化余地  提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

29年度 の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)  平成28年度に改正した新たな表彰基準に基づき、競技者等に対する更なる顕彰の機会を広げ、スポーツの振興を図る。	改革・改善実施の方向性 業務改善																					
	30年度 以降の取組	平成29年度の取り組みに基づき、事業を継続する。	2.改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下		
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持																						
	低下																						

※町民等の意見・要望に対する検討結果



事務事業名	各種大会出場支援事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 7 年度から 年度まで		
所属部門	社会教育課	スポーツ振興係	課長名	松浦 智幸	担当者名 内線番号	横山 裕介 ( 516 )		
総合計画体系	基本目標	个性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり	予算科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名
	政策名	交流を通じた魅力ある地域文化の形成		一般	9	6	1	各種大会出場支援事業
	施策名	スポーツしやすい環境づくり						

法令根拠 -

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 優秀な成績を収め、各種全国・全道大会に参加出場する場合に対しその経費を助成し、自主的な諸活動を奨励する。 また、少年団の大会出場支援のため年一回に限りバスを借上げしている。	→
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 十勝地区大会で上位入賞し、全国・全道大会への出場権を獲得した町民。団体参加は出場登録人員とする。 バス借上げは単位少年団を対象とする。	
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 練習の成果を試す機会である大会に出場しやすくする。	
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 多くの町民が上位の大会に出場することで、町全体の競技レベルが向上する。	

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名称	単位
① 助成申請のあった大会数	大会
②	
③	

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
① 全町民	人
②	
③	

7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名称	単位
① 助成対象者	人
②	
③	

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更  有 (年度から)  無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	7,434,031	5,790,196	4,360,000	4,360,000			
	事業費計(A)	円	7,434,031	5,790,196	4,360,000	4,360,000			
	正職員従事人数	人	2	2	2				
人工数(業務量)	年間	0.2425	0.1217						
人件費計(B)	円	1,969,866	1,002,756						
トータルコスト(A)+(B)	円	9,403,897	6,792,952	4,360,000	4,360,000				
活動指標	① 大会		36	41	40	40			
	②								
	③								
対象指標	① 人		18,950	18,809	18,809	18,809			
	②								
	③								
成果指標	① 人		132	153	150	150			
	②								
	③								
上位成果指標	① %		68.4	61.0	70.0	70.0			
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 上位大会の出場経費の負担が家計を圧迫する場合があります、出場の機会を失う場合はあると考えたため。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 技術の向上等により、上位大会への出場が増加傾向にある。 平成29年度より単位少年団が1団体増える見込み。
---	---

事務事業名	各種大会出場支援事業	所属部門	社会教育課	スポーツ振興係
-------	------------	------	-------	---------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望  この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	日頃の練習成果を評価する場は大会であり、その結果により更に努力や向上心が養われ、スポーツの継続性が保たれると考える。出場費用を助成し大会に参加しやすい環境を整えることが必要であり、生涯スポーツ推進の観点からも妥当である。	
有効性 評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	町内在住者が公的に実施されている大会へ出場する際の費用を助成しており、町の公金を使用することから対象・意図の拡大はできない。また、縮小もできない。	
効率性 評価	3.成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	個人の資質と指導力の影響によるところであり、結果として助成を行うこととなるので、助成枠の拡大をしたとしても成果の向上は期待できない。	
公平性 評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	急な事業の廃止・休止はスポーツの継続性を欠く恐れがあり、経済的な理由で優秀選手の埋没につながりかねない。	
公平性 評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	上位大会等への出場については、選手(チーム)の技術レベルによるところがあるため、町として関与できる部分ではない。	
公平性 評価	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
	提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	交付要綱に則り上位大会等へ出場する町民に対し支援を行っており、適正と考える。	

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

29年度 の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性																							
	・上位大会等への出場助成制度や、単位少年団のバス借上げ制度について、関係団体へ周知活用を促進する。	現状維持	2.改革・改善による期待成果																						
30年度 以降の取組	・29年度の取組を継続する。	<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																					
削減	維持			増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								

※町民等の意見・要望に対する検討結果

事務事業名		十勝体育団体協議会参画事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 47 年度から 年度まで
所属部門	社会教育課 スポーツ振興係			課長名	松浦 智幸	担当者名 内線番号	大橋 毅 内線 ( 516 )
総合計画体系	基本目標	個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり		予算科目	一般	9	6
	政策名	交流を通じた魅力ある地域文化の形成			1	十勝体育団体協議会参画事業	
	施策名	スポーツしやすい環境づくり			予算上の事業名		
法令根拠		-					

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要)  
十勝管内の各市町村体育協会で組織されている団体で本町の体育会も構成員である。  
協議会では、スポーツに関する事業を企画実行するとともに、加盟団体が実施する事業を援助・連絡調整を行う。また、スポーツ振興に対して各市町村などに建議を行う。

2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など)  
本町からの十勝体育団体協議会の役員の数

3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)  
協議会の活動に役員として参画するとともに、町民の体育・レクリエーション活動の普及振興を図るため情報収集や研究活動、連絡調整を行い、実践活動に役立てる

4.結果(どんな結果に結び付けるのか)  
町民にとって、健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え継続していくことができる環境を整える

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名称	単位
① 各種会議等の実施回数	回
② 延べ参加人数	人
③	

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
① (本町からの)十勝体育団体協議会の役員数	人
②	
③	

7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名称	単位
① 延べ参加人数/(会議等の回数×本町からの役員数)	%
②	
③	

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更  有 (年度から)  無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	17,700	17,700	18,000	18,000			
	事業費計(A)	円	17,700	17,700	18,000	18,000			
	正職員従事人数	人	2	2	2				
	人工数(業務量)	年間	0.0142	0.0192					
人件費計(B)	円	115,349	158,200						
トータルコスト(A)+(B)	円	133,049	175,900	18,000	18,000				
活動指標	①	回	6	6	6	6			
	②	人	6	2	2	2			
	③								
対象指標	①	人	2	2	2	2			
	②								
	③								
成果指標	①	%	50.0	50.0	50.0	50.0			
	②								
	③								
上位成果指標	①	%	68.4	61.0	70.0	70.0			
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景  
市町村体育団体間や各種競技団体間の連絡調整を行うなど、スポーツ振興に寄与するために組織化された。

2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか)  
過去に開催されてきた、道民スポーツ、スポーツフェスタが平成21年度をもって休止されたことから、十勝スポーツ交流会という別な形で開催されている。  
毎年2競技程度選定し、会場市町村を変えながら開催している。  
各種競技団体の連絡調整機能よりも、市町村体育団体間の連絡調整やニュースポーツの紹介・交流などを中心に活動している。

事務事業名	十勝体育団体協議会参画事業	所属部門	社会教育課	スポーツ振興係
-------	---------------	------	-------	---------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望  この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性  なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	十勝管内の全市町村の体育協会で組織されている団体への参画であり、芽室町体育会の事務局を担い、支援している町の立場からも支援の継続が必要と考える。		
有効性 評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地  対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	3.成果の向上余地  事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか		
効率性 評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地  事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	5.事業費(トータルコスト)の削減余地  成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか		
公平性 評価	6.受益と負担の適正化余地  提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
	受益が限定されたり、費用負担を求める事業ではない。		

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

29年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性																							
	十勝体育団体協議会の事業を通じて、本町のスポーツ振興のための情報収集や研修に努める毎年2種目程度ではあるが、協議会の主催事業である「十勝管内スポーツ交流会」に町内の体育団体からの参加を促すため、情報提供を行う。	現状維持	2.改革・改善による期待成果																						
30年度以降の取組	十勝体育団体協議会に継続して参画するとともに、研修会・交流会への参加を通じて、町のスポーツ振興に繋げていく。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																					
削減	維持			増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								

※町民等の意見・要望に対する検討結果



事務事業名		スポーツ少年団活動支援事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 54 年度から 年度まで		
所属 部門	社会教育課 スポーツ振興係			課長名	松浦 智幸	担当者名 内線番号	横山 裕介 内線 ( 516 )		
総合 計画 体系	基本目標	個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり		予算 科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名
	政策名	交流を通じた魅力ある地域文化の形成			一般	9	6	1	スポーツ少年団活動支援事業
	施策名	スポーツしやすい環境づくり							

法令根拠 -

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 各スポーツ少年団で構成される少年団本部に対し、補助金の支出と本部の事務を支援する。	→	5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 少年及びスポーツ活動団体		6.対象指標(対象の大きさを表す指標)
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 少年団に加入し、スポーツ活動を行う		7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 少年のスポーツ活動が活発になり、保護者のスポーツ活動に対する姿勢も積極的になる。		8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名 称		単 位
①	町民	人
②	活動団体数	団体
③		

名 称		単 位
①	少年団団員数	人
②	加盟団体数	団体
③		

名 称		単 位
①	団員数/町民	%
②		
③		

名 称		単 位
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②		
③		

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更  有 (年度から)  無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投入 量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	1,787,000	1,754,797	1,737,000	1,737,000			
	事業費計(A)	円	1,787,000	1,754,797	1,737,000	1,737,000			
	正職員従事人数	人	2	2	2				
人工数(業務量)	年間	0.2450	0.1151						
人件費計(B)	円	1,990,174	948,375						
トータルコスト(A)+(B)	円	3,777,174	2,703,172	1,737,000	1,737,000				
活動指標	① 人		18,950	18,809	18,809	18,809			
	② 団体		19	18	18	18			
	③								
対象指標	① 人		601	604	604	604			
	② 団体		19	18	18	18			
	③								
成果指標	① %		3.2	3.2	3.2	3.2			
	②								
	③								
上位成果指標	① %		68.4	61.0	70.0	70.0			
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 少年スポーツの普及と発展のために組織された少年団本部の事務的な支援を行い、本部活動の推進を図るため。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 子どもの体力向上のために、少年団の役割は重要になっている。 平成27年度より、少年団認定員が各少年団に2名以上必要となったことから、認定員が2名いない少年団は、指導者の認定員養成講習会の受講が必要となった。 平成29年度より本部加入単位少年団が1単位増える見込み。(ソフトテニス少年団)
---	---

事務事業名	スポーツ少年団活動支援事業	所属部門	社会教育課	スポーツ振興係
-------	---------------	------	-------	---------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望  この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input checked="" type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	スポーツ少年団の指導者不足について (平成29年3月9日 第12回予算決算特別委員会)  ※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	生涯スポーツを振興する中で、町民と行政の役割分担を考えたとき、少年団本部の存在は町の施策の方針に合致するため、その活動を支援することは妥当である。	
有効性 評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	少年及びスポーツ活動団体が対象であり、拡大・縮小はできない。	
効率性 評価	3.成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか		
公平性 評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	廃止・休止することは、少年団と行政との調整機能がなくなり、活動を停滞させることになる。	
効率性 評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	町民皆スポーツの原点となる少年団活動を支援することは行政の役割であり、一定水準での費用負担は保護者負担を緩和するもので、少年団の運営を円滑にすることから削減はできない。	
公平性 評価	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
	提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	少年団本部へ登録手続きを行った単位団に対して本部からの支援を行っており、提供すべき対象へ提供できしており受益・負担は適正である。	

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

29年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性																						
	・例年作成している団員募集チラシを、より効果的に配布できるよう検討し、団員数の増に繋げる。 ・各単位少年団に、少年団認定員が2名以上いるよう義務付けられたことから、2名いない少年団の指導者には、認定員養成講習会を受講するように促す。	業務改善 2.改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下		
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
30年度以降の取組	・29年度の取組を継続する。																							

※町民等の意見・要望に対する検討結果

指導者への報酬等、単位団への補助金のあり方や指導者確保に対する支援について、スポーツ推進委員や各単位団と協議して検討していく。

事務事業名		芽室町体育会運営支援事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 41 年度から 年度まで	
所属部門	社会教育課 スポーツ振興係			課長名	松浦 智幸	担当者名 内線番号	大橋 毅 内線 ( 516 )	
総合計画体系	基本目標	個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	
	政策名	交流を通じた魅力ある地域文化の形成			一般	9	6	1
	施策名	スポーツしやすい環境づくり			予算上の事業名 芽室町体育会運営支援事業			

法令根拠 -

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 町体育会は町内の各種スポーツ団体が加入しており、団体間の連絡調整や各団体への支援を行っている。 また、スポーツに関する調査研究や町民対象のスポーツ事業などを開催し、町民のスポーツ振興、健康増進のための活動を行う	→
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 体育会会員	
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 自らのスポーツ活動を継続するとともに、町民のスポーツ・レクリエーションの普及振興を図るための研修、事業を行う。	
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 町民にとって、健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え継続していくことができる環境を整える	

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名称	単位
① 町民	人
② 活動団体数	団体
③ 登録団体数	団体

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
① 体育会会員数	人
②	
③	

7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名称	単位
① 体育会会員数/町民	%
② 活動団体数/登録団体数	%
③	

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更  有 (年度から)  無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円	1,759	1,754	1,000	1,000			
	一般財源	円	1,634,745	1,778,612	1,922,000	1,922,000			
	事業費計(A)	円	1,636,504	1,780,366	1,923,000	1,923,000			
	正職員従事人数	人	2	2	2				
	人工数(業務量)	年間	0.0583	0.0910					
人件費	円	473,580	749,801						
トータルコスト(A)+(B)	円	2,110,084	2,530,167	1,923,000	1,923,000				
活動指標	① 人		18,950	18,809	18,809	18,809			
	② 団体		22	22	22	22			
	③ 団体		22	22	22	22			
対象指標	① 人		1,766	1,647	1,647	1,647			
	②								
	③								
成果指標	① %		9.3	8.8	8.8	8.8			
	② %		100.0	100	100	100			
	③								
上位成果指標	① %		68.4	61.0	70.0	70.0			
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 昭和初期にスポーツ大会を主催するなど活動が開始され、昭和41年には規約が制定され現在に至っている。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 加盟団体の一部において役職者や指導者の高齢化による後継者不足や登録者数の減少により事業の停滞が見られるようになってきている。
--	--

事務事業名	芽室町体育会運営支援事業	所属部門	社会教育課	スポーツ振興係
-------	--------------	------	-------	---------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望  この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性  なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	2.対象と意図の拡大・縮小余地  対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
有効性 評価	3.成果の向上余地  事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地  事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
効率性 評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地  成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
公平性 評価	6.受益と負担の適正化余地  提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

29年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性																							
	現在体育会に加盟する22団体の活動を活発化しそれぞれの団体会員を増員を目指す取り組みを促すとともに、平成28年度から開始した青少年を対象とするスポーツ教室を開催し、町のスポーツ振興の活性化をはかる。	業務改善	2.改革・改善による期待成果																						
30年度以降の取組	平成29年度の取り組みを継続するとともに、既存のスポーツ団体のリーダーの固定化・高齢化が進む傾向にあることから、新たなリーダーの育成を進める。 一方で指導者についても、確保が難しくなることが予想されることから、有償での指導等に関して検討していく必要がある。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																					
削減	維持			増加																					
成果	向上			○																					
	維持																								
	低下																								

※町民等の意見・要望に対する検討結果



事務事業名		地域体育館維持管理事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 47 年度から 年度まで
所属部門	社会教育課 スポーツ振興係			課長名	松浦 智幸	担当者名 内線番号	横山 裕介 内線 ( 516 )
総合計画体系	基本目標	個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり		予算科目	一般	9	6
	政策名	交流を通じた魅力ある地域文化の形成			2	地域体育館維持管理事業	
	施策名	スポーツしやすい環境づくり			予算上の事業名		

法令根拠 -

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要)  
閉校となった学校体育館・グラウンド等を、地域の体育施設として活用している。管理運営については地域の団体と公共サービスパートナー協定を締結している。

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名称	単位
① 施設数	施設
②	
③	

2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など)  
町民

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
① 町民	人
②	
③	

3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)  
町民の健康増進や地域活動のための地域体育館の利用を促す

7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名称	単位
① 延べ利用者数	人
②	
③	

4.結果(どんな結果に結び付けるのか)  
町民が地域体育館を利用することによって、健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続していくことができる環境を整える。

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更  有 (年度から)  無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円	155,001	126,192	148,000	148,000			
	一般財源	円	10,204,896	4,597,554	983,000	983,000			
	事業費計(A)	円	10,359,897	4,723,746	1,131,000	1,131,000			
	正職員従事人数	人	2	2	2				
	人工数(業務量)	年間	0.0383	0.0560					
人件費計(B)	円	311,117	461,416						
トータルコスト(A)+(B)	円	10,671,014	5,185,162	1,131,000	1,131,000				
活動指標	① 施設		6	5	5	5			
	②								
	③								
対象指標	① 人		18,950	18,809	18,809	18,809			
	②								
	③								
成果指標	① 人		2,370	2,129	2,200	2,200			
	②								
	③								
上位成果指標	① %		68.4	61.0	70.0	70.0			
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景  
農村地域の学校が閉校となった際に、地域のスポーツ・コミュニティ活動のための施設として、所管替えののち地域体育館として開館している。  
管理については平成27年度より地域社会教育協会や行政区と公共サービスパートナー協定を締結している。

2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか)  
地域体育館として開館したが、経年により老朽化が進んできている。町として大規模な修繕・改修の計画を持っていないため、地域との合意により平成24年度から計画的に解体(廃止)を進めている。

事務事業名	地域体育館維持管理事業	所属部門	社会教育課	スポーツ振興係
-------	-------------	------	-------	---------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望  この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性  なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	施設は町の財産であり、維持管理・運営・廃止(解体)については町の責務である。		
有効性 評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地  対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	老朽化が進んだ施設であり、これ以上の施設整備・改修の計画がないことから、これ以上の利用拡大は見込めない。また、新たに閉校となる施設もない。		
効率性 評価	3.成果の向上余地  事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	それぞれの施設の利用は、他の地域からの利用希望がなく、その地域住民に限られた利用であることから、大きく利用拡大することは考えにくい。		
公平性 評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地  事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	地域のスポーツ・コミュニティ活動の場として継続して利用されており、施設の利用が可能なら地域住民の利用が見込まれるため、廃止(閉鎖)すると影響がある。		
公平性 評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地  成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	6.受益と負担の適正化余地  提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか		
地域のスポーツ・コミュニティ活動としての利用であるため、他の施設と同様に使用料が減免されており、他の施設と均衡がとれており適正である。			

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

29年度 の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入) ・地域との合意に基づき、計画的に施設の廃止(取り壊し)を進める。	改革・改善実施の方向性 予算削減																				
	30年度 以降の取組	2.改革・改善による期待成果																				
・廃止(取り壊し)計画に基づき、順次地域との協議を進めていく。 ・解体経費により予算が増減するが、最終的には削減に向かうと考えられる。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下		
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					

※町民等の意見・要望に対する検討結果

事務事業名		学校施設(体育館)開放事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 4 年度から 年度まで	
所属 部門	社会教育課 スポーツ振興係			課長名	松浦 智幸	担当者名 内線番号	横山 裕介 ( 516 )	
総合 計画 体系	基本目標	個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり		予算 科目	会計区分	款	項	
	政策名	交流を通じた魅力ある地域文化の形成			一般	9	6	2
	施策名	スポーツしやすい環境づくり			学校施設(体育館)開放事業			

法令根拠 -

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 生涯スポーツの推進を図るため、町内の小中学校の屋内体育館を学校教育活動に支障のない範囲で町民に開放する。	5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 町民	
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) スポーツを実践できる場を増加させる	
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 町民にとって、健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え継続していくことができる環境を整える。	

名称		単位
①	解放施設(学校)数	施設
②	延べ学校開放日数	日
③		

名称		単位
①	延べ利用者数	人
②	延べ利用日数	日
③		

名称		単位
①	1日あたりの利用者数	人
②	利用率(利用日数/解放日数)	%
③		

名称		単位
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②		
③		

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更  有 (年度から)  無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投入 量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	252,000	252,000	252,000	252,000			
	事業費計(A)	円	252,000	252,000	252,000	252,000			
	正職員従事人数	人	2	2	2				
人工数(業務量)	年間	0.0192	0.0069						
人件費	円	155,965	56,853						
トータルコスト(A)+(B)	円	407,965	308,853	252,000	252,000				
活動指標	① 施設		7	7	7	7			
	② 日		629	628	630	630			
	③								
対象指標	① 人		7,125	7,800	8,000	8,000			
	② 日		479	504	510	510			
	③								
成果指標	① 人		11.3	12.4	12.5	12.5			
	② %		76.2	80.3	81.0	81.0			
	③								
上位成果指標	① %		68.4	61.0	70.0	70.0			
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 文部事務次官通達「学校体育施設開放事業の推進について」に基づき、町民が日常生活でスポーツ活動を親しむことができるように対応するため、学校教育活動に支障のない範囲で学校施設(体育館)を開放した。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 夜間利用が中心であり、総合体育館や健康プラザ利用希望者が利用できない日に流れて利用することもあることから、現在の利用水準を維持すると考えられる。 29年度は芽室中学校体育館の工事の為、長期間利用不可となることから利用者数は減少すると見込まれる。
---	---

事務事業名	学校施設(体育館)開放事業	所属部門	社会教育課	スポーツ振興係
-------	---------------	------	-------	---------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望  この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性  なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	町立の学校施設の開放であるため、事業を行うには設置者の町(教育委員会)が行う必要がある。		
有効性 評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地  対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
効率性 評価	3.成果の向上余地  事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
公平性 評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地  事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	総合体育館・健康プラザの補完的に利用されていることから、廃止・休止することで他に利用可能な施設がなくなる。		
効率性 評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地  成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	施設管理者(学校)に対する報償費のみの支出であり、削減はできない。		
公平性 評価	6.受益と負担の適正化余地  提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
	利用者負担金を納入いただいているが、他の体育施設の使用料と均衡をとっており、適正である。		

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

29年度 の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入) ・利用されていない日があることから、学校開放の周知、未利用団体やPTA等への利用促進を行い、利用日数、利用人数の増加を図る。	改革・改善実施の方向性 業務改善																				
	30年度 以降の取組	2.改革・改善による期待成果																				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
・29年度の取組を継続する。																						

※町民等の意見・要望に対する検討結果



事務事業名		屋外体育施設維持管理事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 49 年度から 年度まで	
所属 部門	社会教育課 スポーツ振興係			課長名	松浦 智幸	担当者名 内線番号	大橋 毅 内線 ( 516 )	
総合 計画 体系	基本目標	个性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり		予算 科目	会計区分	款	項	
	政策名	交流を通じた魅力ある地域文化の形成			一般	9	6	2
	施策名	スポーツしやすい環境づくり			屋外体育施設維持管理事業			

法令根拠 芽室町都市公園条例

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果		5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)													
1.手段(事業の概要) 芽室町営球場、芽室公園運動広場(ソフトボール場1面を特設)、芽室南多目的運動広場、アーチェリー場、芽室南公園運動広場、芽室公園庭球場(6面、うち1面は壁打ち用)、芽室南公園庭球場(ハード3面、クレー3面)、東工業団地北一公園PG場、芽室南PG場、芽室町サッカー場1面、芽室西運動広場の維持管理を行う		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>施設数</td><td>施設</td></tr> <tr><td>②</td><td>開場日数</td><td>日</td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	施設数	施設	②	開場日数	日	③		
名称		単位													
①	施設数	施設													
②	開場日数	日													
③															
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 町民、スポーツ団体等		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>延べ利用者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	延べ利用者数	人	②			③		
名称		単位													
①	延べ利用者数	人													
②															
③															
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 町民及び各種スポーツ団体のメンバー等が、スポーツ活動を実践することができる。		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>開場日一日あたりの利用者数(除くPG)</td><td>人</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	開場日一日あたりの利用者数(除くPG)	人	②			③		
名称		単位													
①	開場日一日あたりの利用者数(除くPG)	人													
②															
③															
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 町民が体育施設を利用することによって、健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え継続していくことができる環境を整える		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>スポーツしやすい環境であると思う町民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%	②			③		
名称		単位													
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%													
②															
③															

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更  有 (年度から)  無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
事業費 投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円	723,135	548,165	539,000	539,000			
	一般財源	円	33,040,749	34,793,723	34,291,000	34,291,000			
	事業費計(A)	円	33,763,884	35,341,888	34,830,000	34,830,000			
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2				
	人工数(業務量)	年間	0.0908	0.1839					
	人件費計(B)	円	737,583	1,515,257					
	トータルコスト(A)+(B)	円	34,501,467	36,857,145	34,830,000	34,830,000			
活動指標	① 施設		13	13	12	12			
	② 日		198	198	198	198			
	③								
対象指標	① 人		43,520	37,581	40,000	40,000			
	②								
	③								
成果指標	① 人		219.8	189.8	202.0	202.0			
	②								
	③								
上位成果指標	① %		68.4	61.0	70.0	70.0			
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化	
1.この事務事業を開始した背景 町民の健康増進とスポーツの振興のために順次施設を開設した	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 町民の運動志向が高まるとともに、取り組むスポーツも多様化してきているとともに、より快適で安全な体育施設が設置・整備が望まれてきている。 パークゴルフ場は平成24年度より使用料を無料化。 平成25年度には主に社会人のサッカー練習場として十勝川河川敷運動広場にサッカー場を整備した。 平成28年度に台風被害を受けた十勝川河川敷運動公園(野球場、サッカー場)を廃止。 平成29年度に芽室西運動広場を整備。

事務事業名	屋外体育施設維持管理事業	所属部門	社会教育課	スポーツ振興係
-------	--------------	------	-------	---------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望  この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input checked="" type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 老朽化の進んだ町営野球場の改修整備に関する要望を関係競技団体等から受けている。	<input type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性  なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 町民のスポーツへの取り組みは、体力向上や健康増進につながることから活動の場となる体育施設の整備は必要な取り組みである。	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	2.対象と意図の拡大・縮小余地  対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	3.成果の向上余地  事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
有効性 評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地  事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 体力向上や健康増進に取り組む町民やスポーツ団体が、活動の場である体育施設を失うことにつながることであり、スポーツに取り組む町民に影響が及ぶ。	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	5.事業費(トータルコスト)の削減余地  成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】 多くの施設の管理を指定管理施設として委託しており、これ以上の事業費削減は施設の管理状況の悪化を招き、施設の安全性を確保することができなくなる。また、老朽化した施設や台風被害による代替施設の整備など費用負担の増大が予想される。
公平性 評価	6.受益と負担の適正化余地  提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 使用料については、他市町村の施設との均衡を図りながら、維持管理経費を基準に算定している。	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)		改革・改善実施の方向性																				
29年度 の取組	経年による劣化や使用による消耗、台風被害による代替施設の整備や大規模改修に向けた実施設計の実施など、今後の施設の維持管理や改修について、施設の長寿命化などを念頭に置きながら、社会体育施設全体の整備計画と連動させながら検討していく。	業務改善	予算増大																			
		2.改革・改善による期待成果																				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下	
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
30年度 以降の取組	体育館周辺の屋外体育施設の長寿命化及び町営野球場の大規模改修に向け、実行計画への位置付け並びに施設整備に係る補助事業の活用も念頭に検討を行う。																					

※町民等の意見・要望に対する検討結果

十勝川河川敷運動公園野球場の廃止に伴う球場施設の減に伴い、町内の民間や学校の球場の使用について関係機関と協議を行うとともに、平成30年度の町営野球場の改修に向け、計画的に事業を進める。

事務事業名		町営スケートリンク造成維持管理事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 55 年度から 年度まで	
所属部門	社会教育課 スポーツ振興係			課長名	松浦 智幸	担当者名 内線番号	横山 裕介 ( 516 )	
総合計画体系	基本目標	個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	
	政策名	交流を通じた魅力ある地域文化の形成			一般	9	6	2
	施策名	スポーツしやすい環境づくり			予算上の事業名 町営スケートリンク造成維持管理事業			

法令根拠 -

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 芽室中学校グラウンドに、公式規格である400mのスケートリンクを造成する。	→	5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 町民、町民を中心としたスポーツ団体等。		6.対象指標(対象の大きさを表す指標)
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 不足しがちな冬期間のスポーツの場を提供する。		7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 町民にとって、健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続していくことができる環境を整える。		8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① 施設数	施設
② 開場日数	日
③	

名称	単位
① 延べ利用者数	人
②	
③	

名称	単位
① 1日あたりの利用者数	人
②	
③	

名称	単位
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更  有 (年度から)  無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	3,370,366	3,384,997	3,541,000	3,541,000			
	事業費計(A)	円	3,370,366	3,384,997	3,541,000	3,541,000			
	正職員従事人数	人	2	2	2				
	人工数(業務量)	年間	0.0508	0.0801					
人件費計(B)	円	412,657	659,990						
トータルコスト(A)+(B)	円	3,783,023	4,044,987	3,541,000	3,541,000				
活動指標	① 施設		1	1	1	1			
	② 日		44	49	49	49			
	③								
対象指標	① 人		13,200	14,700	14,700	14,700			
	②								
	③								
成果指標	① 人		300	300	300	300			
	②								
	③								
上位成果指標	① %		68.4	61.0	70.0	70.0			
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 町民の健康増進とスポーツの普及のため、町民及び関係団体からの要望で開設した。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 造成場所が芽室中学校グラウンドであり、リンク造成の際の仕上がりが均一にならないため、場所をずらすなど対応している。 平成24年度からリンクの造成等を芽室町スケート協会に委託。 天候の状況により開設期間が左右される。
---	---

事務事業名	町営スケートリンク造成維持管理事業	所属部門	社会教育課	スポーツ振興係
-------	-------------------	------	-------	---------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望  この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性  なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
		スポーツ施設の設置は町民の健康増進に寄与している。また、学校授業での利用者やスポーツ少年団等の競技者の利用もあり、青少年の健全育成につながる。	
有効性 評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地  対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
		冬期間にスケートリンクを町民及び町民を中心としたスポーツ団体を対象に開放しており、拡大・縮小はできない。	
効率性 評価	3.成果の向上余地  事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地  事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
公平性 評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地  成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
		造成管理業務をスケート協会へ委託したことで事業費の低減が図られており、これ以上の事業費削減は困難である。	
	6.受益と負担の適正化余地  提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
		町民及び町民を中心としたスポーツ団体等を対象としており、また、費用負担を求める施設ではないことから、受益・負担は適正である。	

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

29年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入) ・継続してスケート協会に造成維持管理業務を委託するとともに、協会や少年団など関係者による打合せを実施し、よりよいリンクの造成と維持に努める。 ・リンクの造成位置について、サッカー場の芝と重なると芝の管理上好ましくないことから、芝の管理も含め、調整する。 ・リンクの使用開始日や利用状況等の情報発信を行い、周知・利用促進を図る。	改革・改善実施の方向性 業務改善																				
		2.改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下		
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
30年度以降の取組	・29年度の取組を継続する。																					

※町民等の意見・要望に対する検討結果



事務事業名		総合体育館維持管理事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 53 年度から 年度まで		
所属 部門	社会教育課 スポーツ振興係			課長名	松浦 智幸	担当者名 内線番号	大橋 毅 内線 ( 516 )		
総合 計画 体系	基本目標	個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり		予算 科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名 総合体育館維持管理事業
	政策名	交流を通じた魅力ある地域文化の形成			一般	9	6	3	
	施策名	スポーツしやすい環境づくり							

法令根拠 -

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 総合体育館(第一競技場、第2競技場、トレーニング室、研修室等)の維持管理を行う	5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)	
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 町民 スポーツ団体等		6.対象指標(対象の大きさを表す指標)
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 競技スポーツだけでなく体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツにつなげる		
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 町民にとって、健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え継続していくことができる環境を整える		8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称		単位
①	施設数	施設
②	開館日数	日
③		

  

名称		単位
①	延べ利用者数	人
②		
③		

  

名称		単位
①	1日当たりの利用者数	人
②		
③		

  

名称		単位
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②		
③		

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更  有 (年度から)  無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投入 量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円	5,274,963	5,561,428	5,263,000	5,263,000			
	一般財源	円	44,450,573	49,506,090	55,384,000	55,384,000			
	事業費計(A)	円	49,725,536	55,067,518	60,647,000	60,647,000			
	人件費	人	2	2	2				
正職員従事人数	年間	0.1108	0.1508						
人工数(業務量)	円	900,046	1,242,527						
人件費計(B)	円	50,625,582	56,310,045	60,647,000	60,647,000				
トータルコスト(A)+(B)									
活動指標	① 施設		1	1	1	1			
	② 日		350	349	349	349			
	③								
対象指標	① 人		87,461	86,117	96,000	96,000			
	②								
	③								
成果指標	① 人		249.9	246.8	275.0	275.0			
	②								
	③								
上位成果指標	① %		68.4	61.0	70.0	70.0			
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 町民の体力向上・健康増進、スポーツの普及のため、町民・関係団体等の要望により昭和53年に開館した。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 経年劣化や耐震性の向上のため平成24年度に改修工事を実施。施設備品やトレーニング機器などの更新も必要となってきており、計画的に実施することとなっている。施設が、災害時の避難所に指定されていることから、平成26年度にバイオマス発電設備を設置し、維持経費の低減や災害時の利用に備えている。平成29年度からの指定管理委託更新に伴い、バイオマス発電設備の維持管理業務を指定管理業務に移行。
--	--

事務事業名	総合体育館維持管理事業	所属部門	社会教育課	スポーツ振興係
-------	-------------	------	-------	---------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望  この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性  なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	2.対象と意図の拡大・縮小余地  対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
有効性評価	3.成果の向上余地  事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地  事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地  成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地  提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

29年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性																							
	平成29年度からの指定管理者更新に合わせ、バイオマス発電設備の維持管理業務を指定管理業務に移行。年次計画で整備する柔道用畳の更新など備品の更新を行う。	目的拡充	予算増大																						
30年度以降の取組	指定管理者と情報共有を図りながら、適正な施設維持管理に努める。	2.改革・改善による期待成果																							
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持																								
	低下																								

※町民等の意見・要望に対する検討結果

事務事業名		温水プール維持管理事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度事業期間	平成 2 年度から年度まで		
所属部門	社会教育課 スポーツ振興係			課長名	松浦 智幸	担当者名内線番号	大橋 毅 内線 ( 516 )		
総合計画体系	基本目標	个性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名
	政策名	交流を通じた魅力ある地域文化の形成			一般	9	6	4	温水プール維持管理事業
	施策名	スポーツしやすい環境づくり							

法令根拠 -

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 温水プールの維持管理を行う	5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 町民 スポーツ団体等	6.対象指標(対象の大きさを表す指標)
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 競技スポーツだけでなく体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツにつなげる	7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 町民にとって、健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え継続していくことができる環境を整える	8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① 施設数	施設
② 開館日数	日
③	

名称	単位
① 延べ利用者数	人
②	
③	

名称	単位
① 一日あたりの利用者数	人
②	
③	

名称	単位
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更  有 (年度から)  無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円	4,113,138	3,764,254	3,960,000	3,960,000			
	一般財源	円	47,458,366	47,614,146	46,224,000	46,224,000			
	事業費計(A)	円	51,571,504	51,378,400	50,184,000	50,184,000			
	人件費	人	2	2	2				
正職員従事人数	年間	0.0608	0.1066						
人工数(業務量)	円	493,888	878,338						
人件費計(B)	円	52,065,392	52,256,738	50,184,000	50,184,000				
トータルコスト(A)+(B)									
活動指標	① 施設		1	1	1	1			
	② 日		283	283	283	283			
	③								
対象指標	① 人		45,895	45,334	47,500	47,500			
	②								
	③								
成果指標	① 人		162.2	160.2	167.8	167.8			
	②								
	③								
上位成果指標	① %		68.4	61.0	70.0	70.0			
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 町民の体力向上・健康増進、スポーツの普及のため、町民・関係団体等の要望により平成2年に開館した。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 開館当時は季節開館であったが、まもなく通年開館(3月を除く)となり、一定程度の利用者を確保している。 開館以来26年を経過し、施設や設備の老朽化が進んでおり、平成26年度に改修計画の設計委託を実施し、平成27年度に町民による検討会議の議論に基づき教育委員会としての今後の温水プールの改修に関する基本方針をまとめた。今後、基本方針並びに町の公共施設等の管理に関する基本方針等に基づき、プールの改修実施に向けた議論を行っていく。
---	---

事務事業名	温水プール維持管理事業	所属部門	社会教育課	スポーツ振興係
-------	-------------	------	-------	---------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望  この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性  なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	2.対象と意図の拡大・縮小余地  対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
有効性 評価	3.成果の向上余地  事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地  事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
効率性 評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地  成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
公平性 評価	6.受益と負担の適正化余地  提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

29年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性		
	開館から26年を経過した施設であり、施設の経年劣化や安全性の確保、修繕費の増加などを鑑み、平成25年度に施設の改修に係る調査設計業務を実施。平成26年度に利用者や関係団体などの町民による検討会議を召集し、教育委員会としての今後の施設改修に係る基本方針を決定。平成28年度は町の公共施設等の管理に関する基本方針に基づき、改修工事に向けた検討、議論を行い、町の実行計画への位置付けを行い、平成29年度は施設の改修に向けた議論を行う。	業務改善	予算増大	
30年度以降の取組		計画的に施設備品・機器類の更新を進める。教育委員会としての施設改修に係る基本方針等に基づき、施設整備の基本計画を決定するとともに、周辺の社会体育施設を含めた整備計画を策定し、施設の改修計画を整理する。	2.改革・改善による期待成果	
	成果		向上	維持

	コスト		
	削減	維持	増加
向上			○
維持			
低下			

※町民等の意見・要望に対する検討結果



事務事業名		健康プラザ維持管理事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 8 年度から 年度まで	
所属部門	社会教育課 スポーツ振興係			課長名	松浦 智幸	担当者名 内線番号	大橋 毅 内線 ( 516 )	
総合計画体系	基本目標	個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	
	政策名	交流を通じた魅力ある地域文化の形成			一般	9	6	5
	施策名	スポーツしやすい環境づくり			健康プラザ維持管理事業			
法令根拠								—

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 健康プラザ(アリーナ・研修室、資料室等)の維持管理を行う	5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 町民 スポーツ団体等	6.対象指標(対象の大きさを表す指標)
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 競技スポーツだけでなく体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツにつなげる	7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 町民にとって、健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え継続していくことができる環境を整える	8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① 施設数	施設
② 開館日数	日
③	

名称	単位
① 延べ利用者数	人
②	
③	

名称	単位
① 一日あたりの利用者数	人
②	
③	

名称	単位
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更  有 (年度から)  無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円	1,682,816	23,538,269	1,789,000	1,789,000			
	一般財源	円	12,964,610	22,744,115	9,767,000	9,767,000			
	事業費計(A)	円	14,647,426	46,282,384	11,556,000	11,556,000			
	人件費	人	2	2	2				
正職員従事人数	年間	0.0442	0.0790						
人工数(業務量)	円	359,044	650,926						
人件費計(B)	円	15,006,470	46,933,310	11,556,000	11,556,000				
トータルコスト(A)+(B)									
活動指標	① 施設		1	1	1	1			
	② 日		362	316	361	361			
	③								
対象指標	① 人		43,480	39,843	50,000	50,000			
	②								
	③								
成果指標	① 人		120.1	124.1	138.5	138.5			
	②								
	③								
上位成果指標	① %		68.4	61.0	70.0	70.0			
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 町民の体力向上・健康増進、スポーツの普及のため、町民・関係団体等の要望により平成8年に開館した	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 通年でコンスタントに利用されており、特に冬期間にはゲートボールやテニス、フットサルだけでなく、野球などの屋外スポーツ競技者の利用もみられる。 アリーナ部分は砂入り人工芝の構造であるが、摩耗が進行していることから、平成28年度に日本スポーツ振興センターの助成金を活用し、人工芝の張替工事を実施。
--	---



事務事業名	健康プラザ維持管理事業	所属部門	社会教育課	スポーツ振興係
-------	-------------	------	-------	---------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望  この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性  なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	2.対象と意図の拡大・縮小余地  対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
有効性 評価	3.成果の向上余地  事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地  事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
効率性 評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地  成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
公平性 評価	6.受益と負担の適正化余地  提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)		改革・改善実施の方向性																				
29年度 の取組	日本スポーツ振興センターの助成制度を活用して整備したアリーナ人工芝の維持管理に努め、長寿命化に努めるとともに、懸案事項となっている施設天井からの菅漏り対策を含めた今後の施設の改修計画を検討する。	予算増大																				
		2.改革・改善による期待成果																				
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下	
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
30年度 以降の取組	施設の屋根防水工事等について、関係課と連携し有効な工法を検討し、施設備品や機器類等の更新も含め計画的な施設整備を進める。張替えの完了した人工芝の管理を適正に行い、長寿命化に努める。																					

※町民等の意見・要望に対する検討結果

平成 29 年度

事務事業マネジメントシート  
(簡易シート)

作成日平成 29 年 4 月 21 日

事務事業名	ゲートボール協会運営支援事業		事務事業の性格	単年度事業	開始年度 事業期間	平成 15 年度から 年度まで
所属部門	社会教育課	スポーツ振興係	課長名	松浦 智幸	担当者名	横山 裕介 ( 516 )
総合 計画 体系	基本目標	個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり	根拠 法令	-		
	政策名	交流を通じた魅力ある地域文化の形成				
	施策名	スポーツしやすい環境づくり				
簡易シートを 選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金、繰出金のみ事業		<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			

〔事業の概要〕  
 町内のゲートボール競技者等により組織され、競技だけでなくゲートボールの普及振興を進めているゲートボール協会の活動を支援するために、事務局業務の一部を担う。

〔改革・改善案の概要〕	改革・改善実施の方向性	現状維持
-------------	-------------	------

ゲートボール発祥の地である芽室での活動を支えるため、単に競技団体としてだけではなく、競技の普及啓発活動を担うゲートボール協会の活動を支援する。  
 町や各関係団体が行うゲートボールの普及活動等にも協会の協力を得るなど、地域全体でゲートボールの普及啓発を進める。一方で、協会員の高齢化等により、事務局がその機能を担うことを求められているが、一競技団体としての活動を行う側面もあることから、他団体との均衡を図るためにも現在の体制を維持していく。

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)
投入 量	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円			
	事業費計(A)	円	0	0	0
人 件 費	正職員従事人数	人	2	2	
	人工数(業務量)	年間	0.0050	0.0206	
	人件費計(B)	円	40,616	169,735	
トータルコスト(A)+(B)		円	40,616	169,735	0

事務事業名		チャレンジデー実施事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 21 年度から 年度まで		
所属 部門	社会教育課 スポーツ振興係			課長名	松浦 智幸	担当者名 内線番号	大橋 毅 内線 ( 516 )		
総合 計画 体系	基本目標	個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり		予算 科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名
	政策名	交流を通じた魅力ある地域文化の形成			一般	9	6	1	チャレンジデー実施事業
	施策名	スポーツしやすい環境づくり							

法令根拠

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 運動を始めるきっかけづくりとして、5月の最終水曜日に、午前0時から午後9時の間に15分以上の運動をする人の数を集計し他自治体と比較するチャレンジデーを実行委員会を組織して行う	→
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 町民	
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 町民が日常的に運動すること、もしくは運動することのきっかけづくり	
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 町民が日常的に運動すること、もしくは運動することのきっかけづくり	

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名称	単位
① 実施日数	日
②	
③	

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
① 町民	人
② 基準日(2月1日)の人口	人
③	

7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名称	単位
① 参加人員	人
②	
③	

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
② 参加率	%
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更  有 (年度から)  無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投入 量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	207,825	183,229	247,000	247,000			
	事業費計(A)	円	207,825	183,229	247,000	247,000			
	正職員従事人数	人	2	2	2				
人工数(業務量)	年間	0.2275	0.1264						
人件費	円	1,848,019	1,041,482						
トータルコスト(A)+(B)	円	2,055,844	1,224,711	247,000	247,000				
活動指標	①	日	1	1	1	1			
	②								
	③								
対象指標	①	人	18,950	18,809	18,809	18,809			
	②	人	19,191	19,023	18,923	18,923			
	③								
成果指標	①	人	12,338	11,940	10,407	10,407			
	②								
	③								
上位成果指標	①	%	68.4	61.0	70.0	70.0			
	②	%	64.3	62.8	55.0	55.0			
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 日本財団からの情報提供と参加要請などにより、平成21年度より参加している。 当初は、芽室町体育会内に実行委員会を組織して実施した。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 平成22年度からは、体育会のほか少年団本部やスポーツ推進委員(当時は体育指導委員)が連携して取り組んでいる。 運動するきっかけとしての取り組みの意識は浸透しつつあるが、今後も継続して運動に取り組む必要がある。
---	---

事務事業名	チャレンジデー実施事業	所属部門	社会教育課	スポーツ振興係
-------	-------------	------	-------	---------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望 この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input checked="" type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 ・チャレンジデー参加者への参加賞の配布方法について ・参加者集計の方法等について	<input type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性 なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	2.対象と意図の拡大・縮小余地 対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
有効性 評価	3.成果の向上余地 事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地 事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
効率性 評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地 成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
公平性 評価	6.受益と負担の適正化余地 提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)		改革・改善実施の方向性			
28年度 の取組	笹川スポーツ財団と町の補助金を受け、町民による実行委員会を組織して事業を運営する。チャレンジデーに関する認知度を高め、参加者を増加させることにより、町民が運動に取り組むきっかけ作りとするために、積極的なPR活動を実施していく。 平成29年度の対戦自治体は神奈川県大井町。	業務改善			
		2.改革・改善による期待成果			
29年度 以降の取組	早い時期からの実行委員会を開催し、次年度の事業に向けた協議を実施する。町内の各種団体、事業所とも連携を図りながら、運動のきっかけ作りを行い、その結果として参加率の向上につなげていく。	成果	コスト		
			削減	維持	増加
			向上	○	
		維持			
		低下			

※町民等の意見・要望に対する検討結果

・チャレンジデー実行委員会において、参加賞の配布方法、集計方法等について協議し、事業本来の目的である住民の運動するきっかけ作りという観点を改めて認識し、今後の事業の取り組みに活かしていくことを確認。

事務事業名		ゲートボール普及活動事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 24 年度から 年度まで	
所属 部門	社会教育課 スポーツ振興係			課長名	松浦 智幸	担当者名 内線番号	横山 裕介 ( 516 )	
総合 計画 体系	基本目標	個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり		予算 科目	会計区分	款	項	
	政策名	交流を通じた魅力ある地域文化の形成			一般	9	6	1
	施策名	スポーツしやすい環境づくり			予算上の事業名 ゲートボール普及活動事業			

法令根拠

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 広くゲートボールを普及することを目的として、特に青少年や少年団、青年層への普及活動を行い、高校でのGB活動への支援・クラブの設立を支援する。 また、初心者から誰もが参加できる全町ゲートボール大会を開催する。	→
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 町民及び少年団等団員	
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 青少年にゲートボールを普及し、次代を担う競技者の育成が図られるとともに、手軽なスポーツとして定着が図られる。	
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 町民にとって、健康づくりやスポーツ実践が気軽に行え、継続していくことができる環境を整える。	

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名称	単位
① ゲートボール教室開催回数	回
② 全町大会参加者数	人
③	

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
① 町民	人
② 少年団・GBクラブ数	団体
③	

7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名称	単位
① 高校生以下のゲートボール競技人口	人
②	
③	

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更  有 (年度から)  無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投入 量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	798,649	684,357	1,091,000	1,091,000			
	事業費計(A)	円	798,649	684,357	1,091,000	1,091,000			
	正職員従事人数	人	2	2	2				
人工数(業務量)	年間	0.3925	0.2880						
人件費計(B)	円	3,188,340	2,372,997						
トータルコスト(A)+(B)	円	3,986,989	3,057,354	1,091,000	1,091,000				
活動指標	① 回		66	52	60	60			
	② 人		266	238	240	240			
	③								
対象指標	① 人		18,950	18,809	18,809	18,809			
	② 団体		2	2	2	2			
	③								
成果指標	① 人		10	11	20	20			
	②								
	③								
上位成果指標	① %		68.4	61.0	70.0	70.0			
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 ゲートボール発祥の地”めむろ”は、まちづくりの大きな要素となり、次世代に引き継ぐ財産である。町民にとって身近な競技として普及できるような環境づくりや青少年への普及だけでなく、日本全国での普及活動を図ることを目的としている。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 全国的にゲートボール人口が減少しており、今後、広く普及させていくために、青少年や成年層への普及が必要となってきている。
--	---



事務事業名	ゲートボール普及活動事業	所属部門	社会教育課	スポーツ振興係
-------	--------------	------	-------	---------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	まちづくりの一要素として、“ゲートボール発祥の地”を最大限に生かしていくこととともに、発祥の地としての責務として、町の積極的な先導が必要である。
有効性 評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	町民に対して発祥の地であるゲートボールの普及と、青少年に対して次代を担う競技者の育成を行い、手軽なスポーツとしての定着を図ることが現状での目的であり、拡大・縮小はできない。
効率性 評価	3.成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	
公平性 評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	廃止・休止することで、ゲートボールが他の一スポーツ競技と同等となり、発祥の地としてのまちづくりの要素として活用ができなくなる。
効果性 評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	広く町民への普及も目的とした全町ゲートボール大会の開催や最小限の普及活動経費となっている。普及活動は町民のボランティアによる支援も大きく、職員の業務量、事務量の縮減は難しいと考える。
公平性 評価	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 <input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
	提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	受益が限定されたり、費用負担を求める事業ではないが、町民及び少年団等団員を対象として普及活動を行うことから適正と考える。

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

29年度 の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性																				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き初心者から参加できる全町ゲートボール大会を開催していくとともに、青少年への普及活動も実践していく。</li> <li>白樺学園高校への支援を継続するとともに、芽室高校等他校にも普及を進めていく、また、全国ジュニアゲートボール大会出場校等に対する合宿誘致を引き続き行い、地元高校生との交流を通じて競技力の向上、競技の普及拡大を図る。</li> <li>高校生の競技普及を進めるとともに、少年団活動だけでなく小中学生への競技普及を図るため、学校教育との連携を図りながら小中学校の教育課程または教育活動の一環として推進を図る。</li> <li>青少年世代への普及活動は計画性をもって取り組む必要があることから、普及活動を体系化していく。</li> </ul>	業務改善 2.改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下		
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
30年度以降 の取組	・29年度の取組を継続する。																					

※町民等の意見・要望に対する検討結果

事務事業名		軽スポーツ普及推進事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 24 年度から 年度まで	
所属部門	社会教育課 スポーツ振興係			課長名	松浦 智幸	担当者名 内線番号	横山 裕介 ( 516 )	
総合計画体系	基本目標	個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	
	政策名	交流を通じた魅力ある地域文化の形成			一般	9	6	1
	施策名	スポーツしやすい環境づくり			予算上の事業名 軽スポーツ普及推進事業			

法令根拠 -

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 町民の多様なニーズ・適性や能力に応じたスポーツ活動の推進を図り、健康増進と皆スポーツを目指し、健康づくりと生涯スポーツの振興に繋げていくため、保健福祉課と連携し、健康管理、運動能力向上・維持、世代層別スキームを作成し、運動教室を実施する。	5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 40歳～75歳の町民	6.対象指標(対象の大きさを表す指標)
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 年齢や体力にあった運動教室に参加してもらう。	7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 運動教室への参加を契機として、継続した運動や体操を習慣化してもらうことにより、運動維持・体力向上に繋げていく。	8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称		単位
①	運動教室の種類	教室
②	運動教室開催回数	回
③		

  

名称		単位
①	40歳～74歳の町民	人
②		
③		

  

名称		単位
①	運動教室参加人数	人
②		
③		

  

名称		単位
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%
②		
③		

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更  有 (29年度から)  無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円	14,200	18,000					
	一般財源	円	47,556	16,000					
	事業費計(A)	円	61,756	34,000	0	0			
	正職員従事人数	人	2	2					
人件費	人工数(業務量)	年間	0.0875	0.0295					
	人件費計(B)	円	710,777	243,067					
	トータルコスト(A)+(B)	円	772,533	277,067	0	0			
活動指標	① 教室		3	3	-	-			
	② 回		28	28	-	-			
	③								
対象指標	① 人		8,927	8,956	-	-			
	②								
	③								
成果指標	① 人		74	90	-	-			
	②								
	③								
上位成果指標	① %		68.4	61.0	-	-			
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 総合体育館の指定管理業務として運動教室を行っているが、近年は町民から多様なニーズが多く寄せられており、全てに対応することが困難なため、相互的に補完できる運動教室として実施内容を決め、事業を開始した。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 運動教室を開催することが困難であるため、事務事業は廃止する。
--	--

事務事業名	軽スポーツ普及推進事業	所属部門	社会教育課	スポーツ振興係
-------	-------------	------	-------	---------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望  この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性  なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	町民の健康づくりの契機とするための運動教室の開催は行政としての役割である。		
有効性 評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地  対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	3.成果の向上余地  事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか		
効率性 評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地  事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	5.事業費(トータルコスト)の削減余地  成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか		
公平性 評価	6.受益と負担の適正化余地  提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
社会体育指定管理者が主催する運動教室参加者等に対しては、保険料又は施設使用料の負担を求めており、受益負担は適正と考える			

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

29年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)  ・講師対応可能な職員の異動により直営で運動教室を開催することが困難となったことから、29年度より事務事業を廃止する。運動教室は引き続き指定管理者による業務として総合体育館において開催し、住民ニーズに対応できるよう教室の内容の変更・回数の増加等を検討する。	改革・改善実施の方向性 廃止																				
	30年度以降の取組	2.改革・改善による期待成果																				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
H29事業廃止により取組なし																						

※町民等の意見・要望に対する検討結果

事務事業名		発祥の地ゲートボール合宿等実施事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度事業期間	平成 27 年度から年度まで	
所属部門	社会教育課 スポーツ振興係			課長名	松浦 智幸	担当者名内線番号	大橋 毅 内線 ( 516 )	
総合計画体系	基本目標	個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	
	政策名	交流を通じた魅力ある地域文化の形成			一般	9	6	1
	施策名	スポーツしやすい環境づくり			予算上の事業名			
発祥の地ゲートボール合宿等実施事業								

法令根拠

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 全国ジュニアゲートボール選手権大会出場経験を持つ道外高校のゲートボール部を合宿に誘致し、地元高校チームとの交流事業をとおしてジュニア世代(高校生)へのゲートボール競技の普及と技術向上を図る	5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 合宿事業に参加した高校生	6.対象指標(対象の大きさを表す指標)
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 参加校同士の交流を通じてゲートボールの競技力向上と普及を図る。	7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) ゲートボール発祥の地として、ゲートボールが身近な競技であると感じられる環境づくりを行い競技の普及拡大を図る。	8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)



◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更  有 (年度から)  無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	941,871	769,800	1,293,000	1,293,000			
	事業費計(A)	円	941,871	769,800	1,293,000	1,293,000			
	正職員従事人数	人	2	2	2				
人工数(業務量)	年間	0.0142	0.0470						
人件費計(B)	円	115,349	387,260						
トータルコスト(A)+(B)	円	1,057,220	1,157,060	1,293,000	1,293,000				
活動指標	①	校	3	3	4	4			
	②								
	③								
対象指標	①	人	40	25	40	40			
	②								
	③								
成果指標	①	人	10	11	20	20			
	②								
	③								
上位成果指標	①	%	68.4	61.0	70.0	70.0			
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 ジュニア世代(高校生)へのゲートボール競技の普及と技術の向上を目的に、全国ジュニアゲートボール選手権大会への出場経験を持つ道外高校ゲートボール部を合宿に誘致し、地元高校生との各種交流事業を通じて、ゲートボール発祥の地として競技の普及拡大を図ることを目的とする。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 成人のゲートボールの競技人口が減少していく中で、青少年、青年、成年層へ競技普及を強化し、ゲートボールという競技をより身近に感じてもらう土壌を作っていくことで、将来的な競技の普及拡大につなげていく。
---	--

事務事業名	発祥の地ゲートボール合宿等実施事業	所属部門	社会教育課	スポーツ振興係
-------	-------------------	------	-------	---------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望  この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性  なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	ゲートボール発祥の地として、年齢を問わず楽しめる軽スポーツとして町民の健康づくりや町の活性化につなげるためにも青少年層への競技普及という観点からも町の関与が必要		
有効性 評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地  対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
効率性 評価	3.成果の向上余地  事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
公平性 評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地  事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	年齢を問わず楽しめる軽スポーツとして町民の健康づくりや町づくりの要素としての活用が図れなくなるとともに、競技人口の減少につながる恐れがある。		
効果性 評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地  成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	事業費は合宿参加校に対する必要最低限の旅費や宿泊費の補助と交流事業を実施するにあたっての経費であることから、減額は難しい。		
公平性 評価	6.受益と負担の適正化余地  提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
	参加校に対する旅費、宿泊費等の経費の一部を助成している		

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

29年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性																				
	前年度合宿参加校を含むゲートボール部を持つ道外高校に参加の働きかけを行うとともに、地元高校担当者との連絡緊密にし、各種大会、合宿事業への参加について協議するとともに、指導者の派遣やクラブ活動の設置に向けた支援、働きかけを行っていく。また、合宿参加者を対象とした農業体験プログラムの実施など、合宿に参加しやすい環境づくりを検討する。地元の青少年への競技普及、競技者層の拡大を図るため、学校教育との連携を図りながら小中学校の教育課程又は教育活動の一環としての推進を図る。	業務改善 2.改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下		
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
30年度以降の取組	平成29年度の取り組みに基づき実施する。																					

※町民等の意見・要望に対する検討結果